



協働型管理運営による安全な富士山登山のための情報提供

株式会社プレック研究所 池尻あき子・辻阪吟子・伴 邦教・梶田えりか

富士山では、夏のシーズン中、約30万人が山頂を目指し、登山者の増加とともに事故や遭難も増えており、登山者の中には登山が初めての人が6割を超え、若年層が多いことが富士山登山者の特徴となっています。山頂でのご来光のために夜間登山や0泊2日の無理な登山により、高山病で登頂を断念する人もいるほか、

装備が不備な人も多く、そうした登山者に対し、安全な富士山登山を普及することが課題となっています。

富士山登山者は、インターネット等から登山情報を得ていますが、それらに掲載されている情報は、記載の内容に差異がみられ、必要な情報が掲載されていないなど、登山者が必要とする情報が十分に提供されて

①『富士山登山者に提供すべき情報』の整理

1. 登山基本情報

登山基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ●登山シーズン ●登山口・登山ルート ●各登山ルートの特徴・注意事項 ●必要な装備 ●歩き方・トレーニング
--------	---

2. 安全情報

安全情報	●最新気象情報
遭難・事故のリスク情報	<ul style="list-style-type: none"> ●気温差や天候急変の危険 ●遭難・事故の危険 ●落石事故の危険 ●夜間登山の危険
道迷い情報	●道迷いの注意喚起
高山病に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ●高山病とは ●高山病の症状 ●予防策 ●発症後の対応策
緊急時の対処方法	●緊急時の救助要請

3. 規制・マナー情報

基本的なルールとマナー	<ul style="list-style-type: none"> ●自然公園法による国立公園の指定及び禁止行為 ●文化財保護法による特別史跡、名勝、天然記念物等の指定 ●富士山憲章に基づく「富士山カントリーコード」
マイカー規制情報	<ul style="list-style-type: none"> ●有料道路の規制 ●マイカー規制期間中の駐車場及びシャトルバスの運行
環境保全の取組情報	●環境配慮型トイレの利用方法及び協力金

4. 利便情報

アクセス情報	<ul style="list-style-type: none"> ●登山口への交通アクセス ●交通情報
山小屋に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ●山小屋の位置、連絡先 ●山小屋の開設期間 ●利用上の注意事項
案内・問合せ先情報	●登山情報等の問合せ先
トイレ情報	<ul style="list-style-type: none"> ●トイレの場所、混雑状況 ●環境配慮型トイレとチップ制
その他利便情報	<ul style="list-style-type: none"> ●山頂郵便局 ●飲食

5. 資源情報

富士山情報	○標高、成立ち・地形地質、気象特性、歴史文化、国立公園、文化財指定
富士山の見どころ情報	○植生、動植物資源、溶岩洞穴・溶岩樹形、ご来光、陰富士、眺望、山頂付近の見どころ
周辺施設資源情報	○学習施設、五合目周辺でのガイドツアー、温泉、周辺の見どころ、等

登山者向け
情報提供

②登山者向けビデオ等の作成



協議会によりビデオ作成

③『富士山ガイドンス』の開催



協議会主催により開催
50名弱の旅行会社等が参加



ガイドンスでビデオを上映
登山ツアー等での活用を呼びかけ

旅行会社等
向け
情報提供

安全な富士山登山のための情報提供の流れ

作品概要

作品名：協働型管理運営体制による安全な富士山登山のための情報提供
 対象地：富士箱根伊豆国立公園富士山地域（静岡県・山梨県）
 発注：環境省関東地方環境事務所
 事業目的：国立公園として安全で味わい深い富士山登山を普及するため、富士山登山者に提供すべき情報を整理し、その情報を効果的な方法で提供する。
 実施体制：株式会社ブレック研究所
 計画検討・実施期間：2010年11月～2011年3月、2011年6月～2012年3月

作品評

この作品は、富士登山者が年間30万人にも達して未然に遭難事故を予防するための情報提供が強く求められている背景のもと、富士山を管理する多くの関係者が協働で取り組み、登山者に対し、適正かつ統一した情報の提供を目的に実施された業務である。
 選考過程では、多様な登山者ニーズへの柔軟な対応性や協働型管理運営体制の構築に関する具体的な説明不足等について指摘されたが、情報の整理と提供情報の提案、ガイダンスの実施、ビデオと音声ガイドの制作など、登山に係わる情報提供全般を網羅した幅広い技術力、様々な情報を伝えるための分かりやすい表現力などが高く評価された。
 特に“中高年登山”や“山ガール”などのブームの中で、登山の注意喚起に留まらず環境保全を呼びかけている点においてもCLA会員が先駆的に取り組んでいるという発信性の高い作品であることも評価され、特別賞の受賞となった。

いるとは言えない状況となっています。

そこで、環境省を含む富士山周辺の管理関係機関や自治体で構成する「富士山適正利用推進協議会」として必要な情報の統一を図り、安全な富士山登山を普及するために、まず『富士山登山者に提供すべき情報』の整理を行いました。この整理した情報を確実に登山者へ伝える方法として、登山者が乗車する登山口までのバス等の車内を利用することとし、ビデオや音声ガイドを作成して登山シーズン中登山バス等を運行するバス会社へ配布しました。

また、富士山登山では登山ツアーへの参加率が高いことから、旅行会社や出版社等を集め、富士山登山の

実態や『富士山登山者に提供すべき情報』の説明等を行う「富士山ガイダンス」を開催し、ビデオの配布も行ったところ、必要な情報の取得に役立ったとの評価を得、開催は成功したと認識しています。

このように、情報の整理に基づくビデオの作成とガイダンスの開催により、登山開始前の登山者に対しては一定程度の効果をあげることができたと思われまます。今後は登山道上や登山準備中の登山者にも確実に情報が伝わる方策を検討し、関係者の連携・協働による安全な富士山登山の普及を図っていくことが期待されます。



ビデオ『富士山へようこそ～安全登山のために～』の構成